

登録番号 第 23437 号

## クロスリード®液剤

- スギナ、ツユクサなど、ほとんどの雑草を枯らしめます。  
 特長： ●早く枯らし、長く雑草の発生を抑えます。  
 ●有効成分のグルホシネートPは土壌中で速やかに分解されます。

クロスリードは三井化学クロップ&amp;ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	グルホシネートPナトリウム塩…11.5%	包装	10L×1
その他化管法該当成分	—		
性状	青色澄明水溶性液体	有効年限	4年
毒性	普通物 <sup>※</sup>	危険物	指定可燃物 可燃性液体類

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 【適用病害及び使用方法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草	雑草生育期 (草丈 30cm 以下)	500~1000 ml/10a	100~200 L/10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草	雑草生育期 (草丈 30cm 以下)	1000~2000 ml/10a	100~200 L/10a			

## 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 散布直後の降雨は、効果を減ずるので、天候をよく見きわめてから散布すること。
- 本剤は雑草の生育期に有効であるが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、草丈 30cm 程度を目安に時期を失しないように、薬液が雑草全体によく付着するようにていねいに散布すること。
- 植物に薬液が付着すると薬害を生じるので散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 散布液を調製した容器及び散布器具は使用后十分に洗っておくこと。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- 原液は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。

- (3) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (5) 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- (6) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。

**水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----**

水産動植物（魚類）に影響を及ぼす恐れがあるので、養魚田周辺での使用には注意すること。

**引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----**

通常の使用方法では、その該当がない。

**貯蔵上の注意事項-----**

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。